

「屋外、マスク外してよい」は69% 毎日新聞世論調査

2022/5/21 毎日新聞



マスク姿で横断歩道を渡る人たち＝東京都千代田区で2021年2月5日、丸山博撮影（毎日新聞）

毎日新聞と社会調査研究センターは21日、全国世論調査を実施した。新型コロナウイルス対策として、外出時にマスクを着用することについて尋ねたところ、「人の少ない屋外では外してもよい」は69%に達した。「常にマスクを着けるべきだ」は22%にとどまった。「マ

スクを着ける必要はない」は9%だった。

政府は20日、マスク着用について、屋外では会話をほとんどしない場合や、会話をしていても人との距離が2メートル以上の場合などは、不要とする見解を発表した。屋外では、マスクは不要と考える人が増えているようだが、マスクは必須と考える人も一定数いることがうかがえる。

岸田政権の新型コロナ対策については「評価する」は41%で、4月23日の前回調査の35%から6ポイント増えた。「評価しない」は31%（前回34%）だった。新規感染者数が減少傾向のため、評価する回答が増えたとみられる。

新型コロナの水際対策として、政府が行っている外国人の入国制限については、「緩和すべきだ」43%と、「緩和すべきではない」41%が拮抗（きっこう）した。政府は6月から、入国者数の上限を現行の1日1万人から2万人に引き上げる方針だ。

ロシアのウクライナ侵攻を巡る日本政府の対応については、「評価する」は54%で、「評価しない」の21%を上回った。「どちらとも言えない」は25%だった。

日本政府が今後、ロシアからの原油や石炭の輸入をやめる方針については、40%は「ただちにやめるべきだ」と答えた。「段階的に減らすべきだ」は50%、「減らす必要はない」は11%だった。政府は露産原油と石炭の輸入の段階的廃止を表明している。

岸田内閣の支持率は53%で、前回（50%）から3ポイント増加した。不支持率は37%で、こちらも前回（34%）から3ポイント増えた。

調査は、携帯電話のショートメッセージサービス（SMS）機能を使う方式と、固定電話で自動音声の質問に答えてもらう方式を組み合わせ、携帯733件・固定309件の有効回答を得た。【伊藤奈々恵】